第2回対策委員会
ワークショップを開催

9月27日、第2回セーフコミュニティ対策委員会をワークショップ形式で開催しました。

当日は、日本セーフコミュニティ推進機構白石陽子氏のご指導のもと、各対策委員会が2つのグループに分かれて、秩父市における安心・安全に関して、「日々の生活の中で感じる不安や危険」について意見交換をしました。

ワークショップは初めてという方も多く、初めは戸惑っている様子でしたが、多くの意見が出され、活発な議論がされました。

各グループで出された意見をいくつか要約して紹介します。

①交通安全
- 自転車のマナーが守られていない
- 観光客等の車が急停車する

②高齢者の安全
- 階段などでつまづく
- 自動車、バイク、自転車の運転が危ない

③子どもの安全
- イヤホンをしていたり、左右をよく確認しなかったり、自転車の運転が危ない
- 小さな子どもは、夢中で走ってケガをしやすい

④災害時の安全
- 避難場所を把握していない人がいる
- ゲリラ豪雨、竜巻などに対する不安がある

⑤犯罪の防止
- 友人が酔っ払いにからまれケガをした
- 空き家が多くなってきている

⑥自然の中での安全
- 飲酒しての川遊びは危ない
- 山での遭難が多い

次回のワークショップでは、こうした不安に加え、地域特性データをもとに課題の抽出作業を行う予定です。

ワークショップの様子

問　危機管理課℡22―2206